

## 中長期財政計画の策定について／西銘真助

■1番 西銘真助議員 第1点目の『中長期財政計画の策定について』  
伺うということですが、これについては3月定例会で予算審査特別委員会でもいろいろ質疑をしております。説明は割愛します。今後、必要な財源をどう確保していくか、その財源をどう村民のために使っていくか、「いわゆる住民サービス」を滞らせるということではできません。この二つは非常に大事なことです。そうすると、旺盛な財政需要、お金がたいへん必要だと。この住民サービスは、やっていかなくちゃいけないサービスがいっぱいあります。皆さんの衆知を集めて、中長期財政計画を今一度作り、これに従って効率的な財政運営をしていくことが非常に大切じゃないかと思えます。

先般、私ども議会の研修会でも市町村課から資料がありましたけれども、県内で中長期財政計画を策定していないのは伊平屋村を含めて7町村です。残りの市町村は全て計画を作って、計画に基づいて効率的な財政運営をしています。これについては、細かいことは避けましますが、村長のご意見を伺いたいと考えております。

■議長（金城信光）

■真栄田孝村長 西銘議員の中長期財政計画策定についてなんですが、中長期財政計画ですね、世界的にもとても不安定な状況の中で、中長期的な計画を立ててそこにもっていくというのは、やはりとてもハードル

が高い。「中長期財政計画を策定する」に関しては作るべきだと思っていて、そこに向かって村民一体となり向かっていくというのはとても大事だと思います。この人口減少予想を含むいろいろな社会問題、子どもの子育て等に対して、中長期的には基本的な計画を作っていきたいと思っています。

いろいろ予算の確保等もありますので、上地議員からもあったように「予算をとってきてくれ」というのもありましたので、そこらへんは自分の役割としてはやっていきたいと思っています。それに関して歳入は増やして行って、また歳出はいろいろな住民サービスを落とさず計画どおりにできるように、しっかりやっていきたいと思っています。

■議長（金城信光） 西銘議員。

■1番 西銘真助議員 村長の答弁によりますと、意欲的に取り組んでいくと受け取ります。

ちょっと私と見解が違いました。不安定要素は世界的にも日本的にもいっぱいあります。「中長期財政計画を作ることによって、そういう不安定要素がきても修正がきく」と。そういった意味でも、ぜひこの中長期財政計画が必要だと考えております。取り組んでいただきますよう、お願いいたします。